

50

みんなのかんきょう



—Contents—

ふるさと環境自慢	2
「北潟湖」あわら市	
特集	3~5
ふくいの省エネ住宅	
私達の活動紹介	6
坂井市長畝小学校 ハスプロジェクト推進協議会	
読者の窓、協議会事業報告	7
環境クイズ、お知らせ等	8

写真
「菜の花ロード」
—福井市—



環境ふくい推進協議会



「北潟湖」

あわら市

福井県の北端部に、風光明媚な自然湖「北潟湖」があります。面積2・13km²、周囲およそ20kmの「北潟湖」には、コイ・フナ・ウナギ・ワカサギなどが生息していることから、淡水魚釣りのメッカとして有名で、マガン・ヒドリガモ・マガモの渡来地として、環境省の重要湿地500にも選定されています。

ふるさとの環境自慢

6月、初夏の訪れを感じる頃、「北潟湖畔花菖蒲園」では、300種、20万本の花菖蒲が咲き誇り、満開期に合わせて、毎年6月10日から6月25日にかけて「花菖蒲まつり」が開催されます。郷土芸能の披露やあわら温泉の芸妓をモデルにした写真コンテスト、船による湖上遊覧などが催されるほか、スイカ・メロンなど地元特産品の直売や、花菖蒲の株の販売も行われ、県内外からたくさんのお客様が訪れます。

北潟湖の通称南湖には北潟湖畔公園があり、一周3.7kmの周遊サイクリングロード「ハミングロード」が整備されています。途中には、休憩スポットが設けられているほか、ハミ



アイリスブリッジ (左)



ハミングロード (下)

ングロードのシンボルとなっている「アイリスブリッジ」が、北潟湖周辺の自然景観にマッチして、湖に美しいシルエットを浮かばせています。併設されているサイクリングパークで普通自転車やマウンテンバイクをレンタルし、ゆっくりとハミングロードを走ると、湖からの爽やかな風を受けて気分は爽快！おもしろ自転車やバッテリーカーのほか、足こぎボートなども貸し出していますので、小さい子供さんといっしょにのんびり

りと湖上でのひとときを楽しむこともできます。

8月から9月の中秋に合わせて開催される「あわら北潟湖畔観月の夕べ」は、あわら市の文化にふれあえる一大イベント。満月の月明かりと白山連邦の山並みをバックに水上ステージで繰り広げられる芸能の数々、芝生広場での野点茶会、ひとつひとつのろうそくに思いを込めた、あかりばやし、そして、フィナーレを飾る迫力満点の花火は、きつと皆さまの心に残ることでしょう。

北潟湖は、水辺のスポーツ「カヌー競技」のメッカでもあります。特にカヌーに乗ってボールをゴールに入れて得点を競う「カヌーポロ競技」が盛んで、北潟湖畔公園にはカヌーポロ専用コートも整備されています。



あわら北潟湖畔観月の夕べ



毎夏に開催される「あわらカップカヌーポロ大会」は、全国各地から多くのプレイヤーが集まり、日本最大規模の大会となっています。四季折々に美しい自然を奏でる「北潟湖」は、憩いの場であるとともに、観光、文化、スポーツを通して人々がふれあえる場でもあります。また、冬の寒ブナ漁や夏のウナギ漁などの漁業も盛んに行われています。このような大切な自然環境を、みんなで守っていききたいものです。

(あわら市生活環境課)



あわらカップカヌーポロ大会

●ふるさとの環境自慢募集中！
みなさんのふるさと自慢でページをかざりませんか。千字程度の原稿に地図・写真を添付して応募してください。採用された方には記念品をお送りします。

特集

福井の気候・風土に合った

「ふくい」の省エネ住宅

今年2月2日に国連の研究機関IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が発表した報告書によれば、今のまま化石燃料を使い続けると今後100年間で地球の平均気温は6.4℃上昇すると言われています。日本は、京都議定書で約束した温室効果ガス排出量の6%削減は、逆に、8%増加してしまっています。

私たちは、早急に、現在のライフスタイルを見直し、家庭で排出する二酸化炭素を減らすことに着手する必要があります。住宅の省エネ化によっても大きな効果を上げることが出来ることから、福井の気候風土にあった省エネ住宅について考えてみましょう。



住宅のエネルギー消費量 北陸が全国一

環境計画研究所の「家庭用エネルギー統計年報2002年版」によれば、住宅のエネルギー消費量（2次エネルギー…電気など、1次エネルギーを変換・加工して得られるエネルギー）は、北海道が1番、東北が2番、北陸が3番となっています。当然、寒い地域ほど暖房エネルギーをたくさん使うからです。

しかし、この数字を1次エネルギー（石油など、自然から直接得られるエネルギー）に換算してみると、北陸が全国一になります。これは、家が広いことや暖房・冷房に電気を使う割合が高いことなどが考えられます。地球温暖化の原因となるCO₂排出量を削減するためには、住宅においては北陸地方が率先して減らしていくことが重要となります。

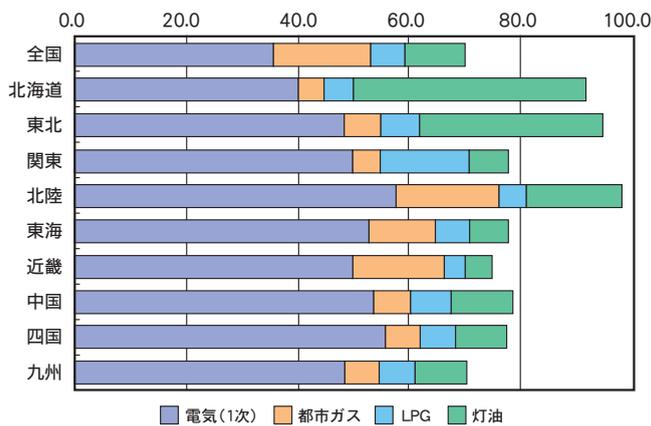


次世代省エネ基準

平成11年、国はこれまでの住宅の省エネルギー基準を改正して、新しい基準「次世代省エネルギー基準」を定めました。「建物本体の熱的な性能の向上」を図ることにより、一般家庭が排出する冷

暖房におけるCO₂の削減をめざそうとしています。この次世代省エネ基準は、暖房の必要性を地域ごとの平均気温から指数化した値「暖房度日」によって日本全体を6つの地域に分類し（図1）、必要な断熱材の厚さ等を規定しています。これによると福井県内はIV地域となり、はるかに温暖なはずの静岡や四国、九州と同じ地域に分

地域別エネルギー別消費量(1次) GJ/(世帯・年)

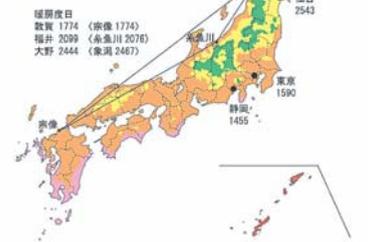


出典：住環境計画研究所「家庭用エネルギー統計年報2002」

図1

省エネルギー基準における地域区分

- 各地域の暖房度日* (18℃)
- I 地域 (3,500度日以上)
- II 地域 (3,000~3,500度日)
- III 地域 (2,500~3,000度日)
- IV 地域 (1,500~2,500度日)
- V 地域 (500~1,500度日)
- VI 地域 (500度日以下)



*暖房度日: 暖房している日の日平均室内気温と室外気温との差の総和をその日の暖房度日といいますが、日本の国内気温差が1℃の場合は、1日です。一部には、暖房期間中の毎日の暖房度日をもとに算出されたものとあります。

出典：JCCCAのHPより。一部加筆



福井の気候 特徴と冷暖房エネルギー

住宅の省エネを考えると、その地域の気候特性を考慮する必要があります。福井の気候にはどのような特徴があるのでしょうか。

冬の平均気温を比べると、敦賀市は静岡市より2℃低く、福井市は敦賀市より2℃低く、さらに大野市は福井市より2℃低くなっています。

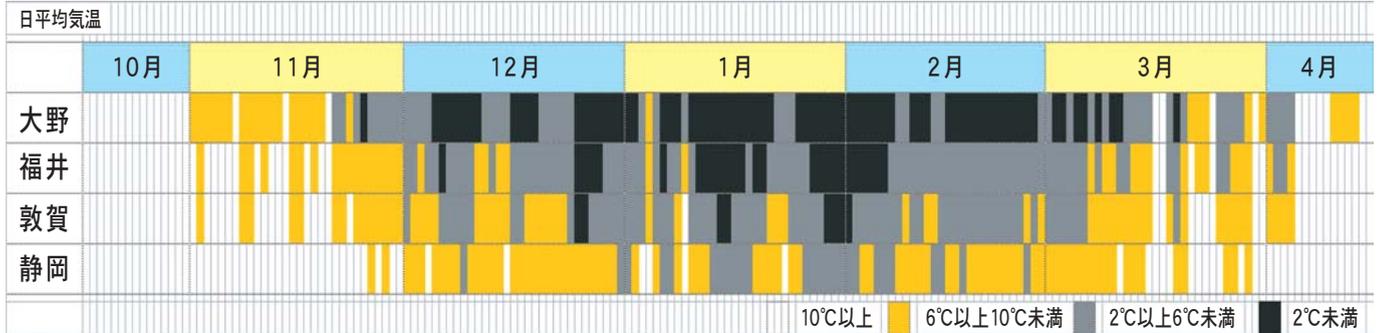
グラフ1は、大野市、福井市、敦賀市、静岡市の日平均気温を表しています。静岡市は2℃未満になる日はありませんが、それに引き替え大野市の1月、2月はほとんど2℃未満になります。

グラフ2は、福井市と静岡市の日照時間、南方日射量です。雪や雨の多い福井では、冬の日照時間が少なくなっています。南面の窓ガラスに降り注ぐ日射量は、12月、1月には静岡市の40%前後ですが、日照時間が回復する2月、3月には70~80%になります。確かに日照時間が少な

く、家の中に太陽のエネルギーを取り入れることができないのですが、2月、3月になれば、ある程度日射を取り入れることはできることに注目する必要があります。

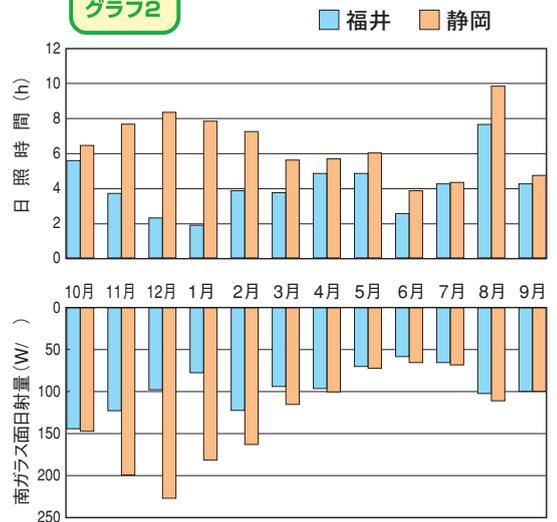
暖房度日から暖房エネルギーを計算すると、敦賀市は静岡市の1.2倍必要となりますが、標準的な住宅を建てるとすれば必要な暖房エネルギーは1.2倍どころか1.8倍になってしまいます。これは福井県内の冬の日照量が静岡市に比べ少ないことによりです。福井市の南窓ガラスに降り注ぐ日射量は、2月から3月には70〜80%になるわけですから、福井でも太陽から降り注ぐ日射量を最大限室内に取り込むことにすれば、暖房エネルギーを少なくすることができます。福井の冬は日照が少なくとあきらめていませんか。南ガラス面の日射量は、太陽高度が低い冬の2月が10月に次いで2番目に多くなるのが福井の特徴なのです。

一方、夏期の平均気温は、福井市・敦賀市に比



グラフィ

グラフ2



「ふくいの省エネ住宅」5つのポイント

以上のことから、福井の気候・風土に合った「ふくいの省エネ住宅」を提案します。そのポイントを5つにまとめました。

1. 気密・断熱化は必要
次世代省エネ基準IV地域の基準を守ることが必要です。奥越地域など県内の寒冷地ではIV地域以上の断熱性能を求めるべきかもしれません。

2. 窓ガラスなど開口部の断熱補強
住宅全体からの熱の出入りに対して窓などの開口部からは、冬の暖房時で48%、夏は71%になります。(図2・図3)

断熱性能の高いLOW-Eガラスを使用したり、アルミ枠を木製や樹脂製にすることも効果があります。

図2

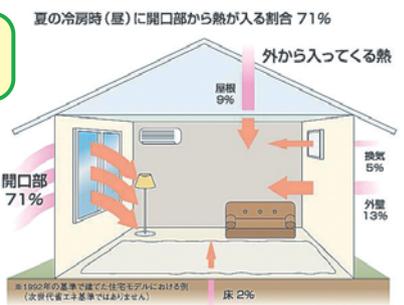
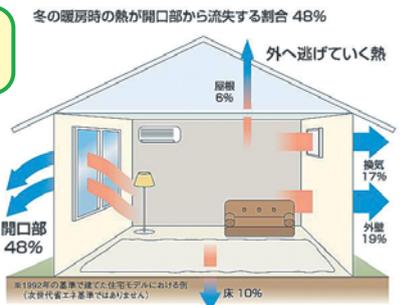


図3



ますが、障子や雨戸を見直すことも重要です。また、ふすま程度の厚さに断熱材を入れた断熱戸は大きな効果が期待できます。

3. 冬は日射を取り入れ、夏は日射をさえぎること
日射が少ない福井であっても、南面に大きな開口部を作る方が省エネになります。冬晴れた日、南側に20の窓があれば2.5kwの小型ファンヒーターに匹敵するエネルギーが得られ、断熱・気密化された住宅では、夜に断熱戸を使えば暖房はほとんど必要ありません。しかし、高断熱住宅ほど夏はしっかりと日射を遮る必要があります。すだれのように、日射が室内に入る前に遮断してしまうことが最も理想的です。

4. 夏、夜間に蓄冷
深夜から早朝の冷えた空気を建物内に取り込むことによって建物はクールダウンするだけでなく、冷えた熱を蓄えることもできて、日中の冷房エネルギーは大きく削減できます。

5. 部分暖房、間欠暖房のできる間取り
近年、LDKのワンルーム化や家族の個室それぞれを暖房するようになり、暖房エネルギーは増大しています。開放的な間取りは魅力的ですが、地球温暖化を考えると、冬の時期はどこで間仕切

出所：日本建材・住宅設備産業協会

り、どこまで暖房するのかを十分計画しておくことは高断熱住宅でも大切なことです。



リフォームで省エネ住宅に

住宅全体ではなくリフォームする部分だけを断熱改善することで効果は得られます。リフォームする部分に合わせ省エネを考えてみましょう。

【間仕切壁・床下】

仕切壁下部を断熱材等でふさぐこと（気流止め）で、壁の断熱材の効果が発揮され、大きな省エネにつながります。

【窓】

断熱アルミ・ペアガラスなどによって気密・断熱化を行います。また、ガラス窓の内側に障子や断熱戸を入れることによって意外と高い効果が得られます。カーテンは、カーテンボックスを取り付け、丈は床までとどくようにします。

夏は庇（ひさし）をつけて日射を遮り、冬は太陽の高度が低く日射を部屋まで取り入れます。

【天井裏または屋根面】

夏の換気のため、吸気と排気を考えた換気口を取り付けます。

断熱には、十分な厚さの断熱材を隙間なく充填する方法が一般的ですが、野地板の上や屋根垂木の間で断熱材をいれたりする方法があります。

【外壁】

柱や間柱の外側に断熱材を張る方法があります。気流止めがないと十分効果を発揮しません。



手軽にできる暮らしの工夫

高気密・高断熱住宅でも必要に応じて必要な部屋を適度な温度で冷暖房する方が省エネになります。また、冬の工夫、夏の工夫、季節に応じた暮らし方の工夫で省エネのレベルアップが図られます。

冬の工夫

- ・窓に断熱戸をはめ込む。
- ・窓や扉の隙間を隙間テープでふさぐ。
- ・厚地のカーテンを床まで覆う。
- ・床にカーペット、アルミ断熱シートを敷く。
- ・床下換気口をふさぐ（床下防湿対策がなされていることが必要）。
- ・2月、3月に、窓下に反射板を設置し、日射の取り入れを増やす。
- ・冬も扇風機（サーキュレーター）で暖かさを満遍なく行き渡らせる。



窓下への反射板の設置

夏の工夫

- ・窓の外に離して簾（すだれ）をかけたたり、下屋にヨシヅを浮かして並べ、日射を遮る。



すだれ



植物で日光をささげる

- ・アサガオ、ゴーヤなどの蔓性の植物を植え、日射を遮る。
- ・窓を開けて、夜の冷気を取り入れる。
- ・建物周囲に植栽する。南面は、落葉高木で冬に日射を入れることも考慮する。
- ・打ち水
- ・エアコンと扇風機を併用して、冷気を満遍なく行き渡らせる。



設備の導入で省エネ住宅

家庭からのCO₂排出量の内、照明・家電製品から31%、給湯・キッチン・水道から18%、冷暖房から15・5%となっています。住宅設備の省エネによって大きなCO₂削減が期待できますが、それにより使用量が増えればCO₂排出量を逆に増加させるケースもあり注意しましょう。住宅設備の省エネには次のようなものがあります。

- 太陽熱温水器（太陽熱を利用するエネルギー効率、経済効率のよい機器）
- 太陽光発電
- エコキュート（ヒートポンプ式電気温水器）
- エコウイール
- （ガスで発電と給湯のコージエネ・システム）
- 雨水利用
- 地中熱利用（地中熱利用ヒートポンプなど）
- 屋上緑化・壁面緑化



最後に

住宅は50年、60年という寿命の長いものです。今は京都議定書の6%削減を実現させることが重要ですが、それは地球温暖化対策の第一歩に過ぎません。2050年には、60%のCO₂削減が必要であると言われていますが、今回提案したことを考慮すれば60%削減は可能です。

これから住宅を建てられる方は、50年、60年先のことを考え、住宅の省エネ化を検討していただきたいと思います。

また、すでに建てられた方は、10%、20%の削減をめざして、リフォーム（断熱戸のような建具の設置を含む）や暮らしの工夫をお考え下さい。

（福井県地球温暖化防止活動推進センター）



坂井市長畝小学校

長畝小学校は坂井市の東部に位置し、学校の東側には里山「味岡山」、その横を流れる「五味川」と、豊かな自然に恵まれています。この味岡山や五味川を生活科や総合的な学習の場として、自然にふれ合ったり草花で遊んだりしてきました。



五味川清掃



五味川の水質調査

一方で近年、遊味岡クラブという市民グループが中心となって、この味岡山を憩いの場にしようと里山再生プロジェクトが進められているところです。そこで本校児童達もこの取組みに協力しようと、3年生はドングリの苗を育て植える計画を着々と進め、4年生は五味川の清掃活動と水質調査を行っています。5、6年生はクリやドングリの植樹および巣箱掛け、清掃活動と自然に対して能動的な活動を行っています。また、今年度から味岡山を活用して自然のすばらしさを児童達に体験させようと、PTA事業「四季の味岡山、親子活動」「五味川ホタル観察会」も実施されています。



森林インストラクターと観察会



巣箱かけ

このような活動を通して児童達が自然環境の魅力に気付き、自然への関心が高まると共に自然環境保護意識の涵養が図られることを望んでいます。

ハスプロジェクト推進協議会

私たちは、三方五湖とその周辺里地をフィールドに、自然と地域の再生を目指して活動するNGOです。三方五湖の自然を代表するハス（魚類）は、現在、容易に姿を見ることはできません。私たちは、ハスが泳ぐ川や湖を取り戻すためには、自然を再生するだけでなく地域にすむ人たちの気持ちをつなぐことが重要と考え、活動を展開しています。

昨年から力を入れて活動しているのは、「湖の恵み発掘調査」です。これは、地域の人たちが忘れかけた湖の恵みを再発見し、それを次の世代にも伝えることで、地域の人たちが湖を思う気持ちを再生し、さらには豊かな自然を取り戻す行動に移すことをねらったプログラムです。この活動からは、たくさんの淡水魚文化が再発見されつつあります。



ハス川での魚類調査



生きもの豊かな田んぼづくり

コイ、フナの刺身の人気が高いこと、シジミを捕って食べていたことなど。地域の人々の力で豊かな水辺環境が再生できるよう、活動を継続したいと思います。

会の活動としては、このほか、農薬をつかわない生きもの豊かな田んぼづくり、魚類調査や植物モニタリングなど科学的な調査研究活動も行っています。と一緒に活動いただける、個人・企業・その他団体など、様々な方のご参加をお待ちしております。



ハスプロジェクト推進協議会 ホームページアドレス
<http://www.k2.dion.ne.jp/~hasupro/>

(ハスプロジェクト推進協議会 事務局)

私

達一人ひとりが環境のことを理解し、取り組んでいかなければならない時です。消費者と事業者、両者からきちんと取り組んでいく必要性を改めて思いました。

(越前市 Tさん)

少

少しでもゴミが減るように購入時に本当に必要なものかよく考えて買うようにしています。マイバック持参、トレー、ペットボトル、牛乳パックのリサイクルに努めています。

(美浜町 Sさん)

容

器包装リサイクル法が改正され、私たちに出来ることが5点挙げられていました。常々頭におき、親が手本となり、子ども達に教えていかなければならないと思っています。

(敦賀市 Hさん)

我

が家でも容器包装のゴミがとても多く、ゴミ減量化のためリサイクルできるよう分別を心がけています。過剰包装反対です。

(福井市 Yさん)

地

域のゴミの出し方のルールを守り、リサイクル運動を心がけて生きたいと思っています。

(永平寺町 Wさん)

読者の窓

たくさんのおはがき、お手紙ありがとっせいでいいです。紙面の関係上、全部を掲載できなかったことをおわびいたします。今後とも、より良い情報紙とするため、みなさまの便りをお待ちしております。



「環境パートナーシップ交流会」を開催しました!

今日のような環境問題に適切に対応するためには、県民、事業者、NPO、行政などが、それぞれの特性を活かしながら、パートナーシップを築き、共に手を携えて環境保全活動を推進していく必要があります。

そこで、環境保全活動に取り組む個人や団体等の活動の輪の拡大を図るため、情報交換や相互交流の場である「環境パートナーシップ交流会」を3月3日(土)に福井県民会館にて開催しました。

分科会

各テーマに分かれ、コーディネーターから話題提供をしていただき、その後、参加者間で意見交換が行われました。

テーマ1 企業と環境NPO等との連携 参加者：15名

コーディネーター ノーム自然環境教育事務所 代表 坂本 均 さん

概要 CSR(企業の社会的責任)を共通理解した上で、生物多様性に対する企業活動と環境NPO、環境保全団体との協力・連携を進めていくための方策や課題などについて意見交換が行われました。



テーマ2 地球温暖化 参加者：11名

コーディネーター NPO法人 エコプランふくい 理事 吉川 守秋 さん

概要 子どもたちへの環境教育、大人たちへの環境意識の啓発の重要性や環境教育の取組みを紹介し、身近なことから日ごろ感じていること、地球温暖化防止活動を進めていくための方策や課題などについて意見交換が行われました。

テーマ3 里地・里山の保全 参加者：11名

コーディネーター 越前市環境政策課・希少野生生物専門員 長谷川 巖 さん

概要 越前市(白山坂口地区)の「里地里山保全再生モデル事業」の紹介を中心に、自然環境の保全を維持、継続し続けていくこと、日ごろ感じていることや課題について意見交換が行われました。



全体会

司会 環境ふくい推進協議会 企画委員長 御嶽 義視 さん

概要 各分科会で話し合った内容を他分科会に参加した参加者にも伝えていただき、参加者全体で意見交換を行う全体会を行いました。また、コーディネーターの方から各分科会の総評をしていただき、今後の活動を行う上での助言をしていただきました。

テーマ1 生物多様性に目を向け、継続していくことが大切

テーマ2 京都議定書6%削減の難しさ、2050年までに全世界で60%の二酸化炭素の削減
家庭での二酸化炭素の削減の率先 今のエネルギー使用量を半分にする

テーマ3 自然環境を守るためには、福井のお百姓さんが、元気になること
環境に興味がある人たちのネットワークづくりの充実



チャレンジ!! 環境クイズ

今回は「ふくいの省エネ住宅」がテーマです。全問正解めざしてチャレンジしてみてくださいね。御応募お待ちしております！

- 第1問** 住宅のエネルギー消費量が北陸が全国で一番多いのは次のどのエネルギーでしょうか？
- ① 1次エネルギー
 - ② 2次エネルギー
 - ③ 3次エネルギー
- 第2問** 冬の暖房時の熱が、窓などの開口部から外に流出する割合は何%でしょうか？
- ① 8%
 - ② 28%
 - ③ 48%
- 第3問** 窓など開口部の断熱補強で効果の高いのは次のどれでしょうか？
- ① 障子
 - ② ブラインド
 - ③ すだれ

前回解答

第1問 ③ 8種類
 第2問 ① 41.38%
 第3問 ③ 3R推進マスター

前回当選者(敬称略)
 刈田益次郎 石本彩也伽 中西俊夫 河辺美由紀
 大久保啓治 行方希 嶋洋行 吉岡里英
 成田美由紀 稲葉健

環境クイズ応募要領

★方法/答えを官製ハガキに記入の上、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、性別および本紙の感想を書いて、当協議会まで郵送してください。

★締切日/平成19年5月31日(当日消印有効)
 全問正解者の中から抽選で、図書カードをお送りいたします。当選者は次号で紙面にて発表します。

[応募先] 〒910-8580

福井県庁内 環境ふくい推進協議会

福井県からのお知らせ



LOVE-A-S-FUKUI
 みんなで止めよう温暖化
 チーム・アゲオス6X
フタコフコは「チーム・アゲオス」のキャラクターです。

こどもエコクラブ に集まれ!



平成19年度会員募集

会費無料

こどもエコクラブは、幼児から小・中学校の児童・生徒および高校生まで誰でも参加できる、環境活動クラブです。生き物・水質調査、町のエコチェック、リサイクル活動、環境美化活動など環境のことを考えよう、やってみようと思ったら、仲間といっしょにクラブを作って登録しよう。

参加クラブには・・・

環境活動に役立つヒントがいっぱいの「会員手帳」と「メンバーズバッチ」、環境についてのいろいろな情報がついている「JECニュース」が送られます。

詳しくは、県環境政策課または最寄りの市町の環境担当課までご連絡いただくか、こどもエコクラブのホームページをご覧ください。

福井県環境政策課

TEL:0776-20-0301

こどもエコクラブHP

<http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/index.html>

topics

1月19日 北陸電力福井支店より環境ふくい推進協議会に、**415,800円**の寄付がありました。

この寄付金は、同支店が昨年9月に開催した「2006ほくでんふれあいコンサート」の入場料の一部です。

当協議会では、この寄付金を活用してクリーンアップふくい大作戦の3月統一行動期間(18日(日)～25日(日))に環境美化活動を実施する県内の団体を募集し、105団体に花の苗(パンジー・ビオラ等)5,500鉢を贈りました。



※各団体による植栽活動につきましては、次号でお知らせします。

北陸電力福井支店
石山総務部長より目録贈呈



写真募集!

みんなのかんきょうの表紙を飾る写真を募集します。福井県内の自然の風景であれば、何でも構いません。多数のご応募お待ちしております。

※採用された方には記念品を送らせていただきます。

環境ふくい推進協議会 会員募集!!

環境ふくい推進協議会では、随時会員を募集しています。

環境問題に関心のある方、本紙『みんなのかんきょう』を毎月読みたい方、当協議会主催行事等の情報を知りたい方は、ぜひご入会ください。お待ちしております！

年会費

個人会員：500円
 企業会員：10,000円
 (1口以上何口でも可)
 団体会員：無料

申込み・問合せ先

環境ふくい推進協議会事務局
 (福井県環境政策課内)
TEL: 0776-20-0301

環境ふくい推進協議会からのお知らせ

メールマガジン

⇒⇒⇒ E-mail : kankyou@pref.fukui.lg.jp

環境ふくい推進協議会では、環境に関するイベント情報をメールマガジンを活用し、タイムリーに提供することにより、会員相互の情報の共有化を図っています。

情報を発信したい方、受信したい方は下記アドレスまでご連絡ください。

ホームページ

⇒⇒⇒ <http://www.erc.pref.fukui.jp/eco/kfs.html>

協議会の事業紹介やイベント案内、『みんなのかんきょう』のバックナンバーも掲載しています。

編集後記

⇒⇒⇒ <http://www.erc.pref.fukui.jp/eco/kfs.html>

春が来ました！といっても、今年の冬は雪が少なく暖かい日が多かったですね。改めて地球温暖化について、いろいろ考えさせられました。